

呼吸器核医学ワーキンググループ(最終報告)

代表 植林 勇 (大阪医科大学放射線科)

メンバー(50音順)

井上登美夫(横浜市立大学放射線科)	今井 照彦(済生会奈良病院内科)
小倉 康晴(大阪医科大学放射線科)	川本 雅美(横浜市立大学放射線科)
佐藤 功(香川医科大学放射線部)	菅 一能(山口大学医学部放射線部)
本田 憲業(埼玉医科大学総合医療センター放射線科)	森 豊(東京慈恵会医科大学放射線科)

なお、詳細は原著論文として Annals of Nuclear Medicine 16 巻 8 号 (549 ~ 555 頁) に掲載されておりますので、ご参照下さい。

1. 肺血栓塞栓症の診断能について、換気、血流シンチグラフィと CT との比較を全国の 1,222 施設にアンケートを配布し、最終的に 239 施設 (19.6%) より回答があった。肺血栓塞栓症は肺血流シンチグラフィと造影 CT で同等の診断能が得られた。肺換気シンチグラフィはわが国ではこの疾患の診断法としては確立していなかった。造影 CT はわが国では本疾患の診断に広く用いられているが、肺血流シンチグラフィは本疾患の重症度の決定や経過観察に利用されている。

2. 肺癌における核医学検査の施行状況を全評議員を対象としてアンケート調査を行い、第 42 回日本核医学会総会会長基調講演にて報告した。有効回答施設は 51 施設であった。呼吸器核医学(肺換気、血流シンチグラフィ)に関する部分を掲載する。

1) 肺癌の診療に換気、血流シンチグラフィを施行するか？

両者とも施行しない	9
両者とも施行する	1
病態によって両者とも施行する	31
血流シンチグラフィのみ施行	1
血流シンチグラフィのみ病態によって施行	9

換気シンチグラフィのみ施行	0
2) 肺癌における換気、血流シンチグラフィの施行目的は？ (複数回答可)	
肺癌による呼吸困難の原因検査	7
肺癌による換気、血流障害の範囲と程度を知るため	27
COPD など併発肺疾患による換気、血流障害の程度を知るため	23
肺癌と肺血栓・塞栓症の併発の有無の診断	11
手術後の残存肺機能を知るため	31
手術後の肺塞栓症の有無の診断	8
放射線治療の照射野の決定のため	2
放射線治療の適応の有無をみるため	2
放射線肺炎の検出	3
放射線治療後の治療効果判定	3
放射線治療後の再発診断	1
化学療法後の治療効果判定	4
その他	0

肺癌においても換気、血流シンチグラフィが肺癌患者の病態把握や術後の呼吸機能の予測のために多くの施設で施行されていることが判明した。